

生活に困ったとき相談してみませんか？

「生活・仕事・自立相談窓口 しえん」



仕事が続かない…、家賃が払えなくなった…、家計のやりくりが大変…、借金の支払いが大変…、引きこもりで悩んでいる…などお困りのことはありませんか？市には、このような困り事を抱える人に相談員が一人ひとりに寄り添い、解決に向けて支援する相談窓口「生活・仕事・自立相談窓口しえん」があります。この特集のお問い合わせは、福祉総合相談課☎483-1151へ。



▲「しえん」相談ブース。五つのブースがあります

生活する上で抱えている さまざまな困り事の相談ができます

仕事、家計、ひきこもりなど、さまざまな問題や困り事について、気軽に相談してください。皆さんの問題解決に向け、支援します。困ったときに相談してみましょう！

■これまでの相談例

- ・生活に不安がある
- ・社会に出るのが不安
- ・税金を滞納している

個々の内容に応じて、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

住居を失ったなどでお困りの方には 住居確保給付金を支給

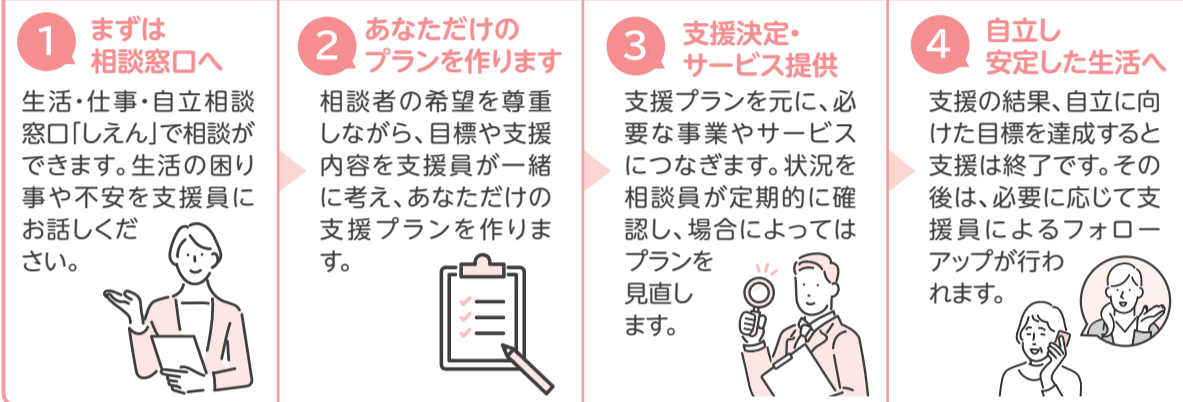
離職や収入の減少などで住むところなくなった人を対象に、就職に向けた活動などを条件に一定期間、家賃相当額(上限あり・原則3か月)を支給します。「しえん」で相談・申請を受け付け、市が給付の可否を決定します。

■主な要件

- ①離職ややむを得ない休業等により経済的に困窮し、住居を喪失したか、または住居を喪失するおそれがあること
 - ②離職などの日から2年以内であること、または休業などにより、離職などと同程度まで収入を得る機会が減少していること
 - ③世帯の主な生計維持者であったこと
 - ④収入、預貯金額が一定基準以下であること
 - ⑤ハローワークなどに求職の申し込みをしており、誠実かつ熱心に求職活動を行うこと
 - ⑥類似の給付等を、申請者および申請者同一の世帯に属する者が受けていないこと
- ほかにも複数の要件があります。詳細は「しえん」までお問い合わせください。

広告

相談から支援までの流れ (相談無料・秘密厳守)



家計の立て直しをアドバイス

家計の「見える化」と根本的な課題の把握を行い、相談者が自ら家計を管理できるように支援し早期の生活再生をサポートします。

就労にあたっての不安を解消

社会とのかかわりに不安がある、ほかの人とコミュニケーションがうまくとれないなど、就労が困難な人に1年間、プログラムに沿って一般就労に向けた能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。

分野にとらわれない支援を行います

■どなたでもお気軽に相談できます

相談者の属性、世代、相談内容等にかかわらず、地域住民からの相談を幅広く受け止め、本人に寄り添い、抱える課題の解きほぐしや整理を行います。複雑化・複合化した課題に対しては、チームアプローチやアウトリーチ(訪問活動)などによる伴走支援を行います。

■社会参加に向けた一歩

地域の社会資源とのコーディネートやマッチングを行うほか、社会参加の場につながった後は、定着に向け一定期間フォローアップを行います。

広告

このような相談を受けています 「しえん」で相談のあった事例

■同居の家族からの相談

子どもの就職活動がうまくいかず、令和7年3月に大学を卒業してから無職となり、本人も室外での活動をほとんど行わなくなってしまいました。このまま家の中で引きこもりになってしまわないか心配です。どうしたらいいのでしょうか。

<対応>

本人が主体的に取り組んだ姿勢を大切に、本人を信じて見守ることの重要性を伝えました。家族だけで悩まず、恩師へ相談したり、卒業した大学にも相談窓口があることを案内しました。また、ハローワークは求人情報の提供だけでなく、求職者の支援訓練講座などを実施しているため、視野を広げて検討しましょうと伝えました。ご家族からは「家族が焦りすぎないこと、行政以外の相談先についての気づきが得られ、大変有意義な時間でした」と感謝の言葉をいただきました。

生活・仕事・自立相談窓口「しえん」

八千代台西1-1-3ソーシャルビル3階
☎456-8141

午前8時30分～午後5時※土日祝日を除く